

ソーシャルボンドとしてのJICA債

SDGs達成に向けた貢献ツール

JICAは、2016年に国内初となるソーシャルボンドを発行しました。以降、国内で発行するすべての債券をソーシャルボンドとして発行、2022年度までの発行総額は4,200億円に達します。

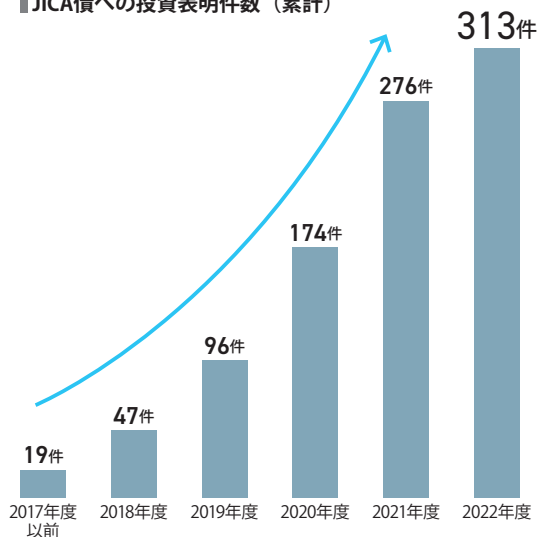
ソーシャルボンドとは、社会的課題の解決に資する事業の資金調達のために発行される債券です*。ソーシャルボンドとしてのJICA債は、SDGsへの貢献やESG投資のツールとして注目を集め、多くの投資家に投資表明をいただいています。

調達資金は有償資金協力事業に充当

JICA債で調達した資金は、有償資金協力事業に充当され、道路や鉄道などの交通インフラ整備、再生可能エネルギーを使った電源の開発、



■ JICA債への投資表明件数（累計）



個人向け債券「JICA SDGs債」のロゴ。「投資を通じて、世界の課題に取り組む」、この新しい試みが「JICA SDGs債」です

ジェンダー平等の促進、平和構築など、多岐にわたる分野で開発途上国の安定と持続的発展のための事業に使われます。

国内初の「ピースビルディングボンド」を発行

2022年度は、世界の武力紛争や難民・避難民の数が増加している問題に着目。トルコでのシリア難民およびホストコミュニティのための社会インフラ整備事業や、イラクの復興支援など、紛争や内戦により影響を受けた(受けている)さまざまな国・地域などに対する、平和と安定や復興を推進する事業に資金使途を限定する「ピースビルディングボンド」を国内で初めて発行しました。

国内外で平和への関心が高まるなか、SDGsの目標16「平和と公正をすべての人に」などへの貢献ツールとして好評を得ました。

個人向け「JICA SDGs債」を発行

また、個人が1万円から購入できる「JICA SDGs債」も発行しました。個人が気軽に国際協力に参加する手段の一つとして、多くの方に歓迎いただいています。

身近な国際協力、SDGsへの貢献、ESG投資のツールとして、皆さまに選んでいただけるよう、今後もJICA債の発行を継続していきます。

* JICAは、国際資本市場協会(ICMA)が公表するソーシャルボンド原則に適合した債券フレームワークを構築し、第三者評価機関からセカンドパーティーオピニオンを取得しています。